



成長の実感のために最後までやりぬく

3学期がスタート

年末年始が過ぎ、家庭での行事に参加した冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。新たな年の始まりだけでなく、年度の総まとめの時期となります。別の言い方をすると、「初めよければ半ばよし(計画・見通しの重要さ)」と「終わり良ければ全てよし(まとめ・見直しの重要さ)」の、どちらも併せもつ重要な3ヶ月となります。学校職員一同、この3ヶ月の重要さをしっかり認識し、児童の成長に向けて全力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式では、以下の内容で「1年のまとめとして、また、次の学年の準備として、1日1日を大切に過ごして欲しい」と伝えました。

皆さんおはようございます。今日、元気な皆さんの笑顔を見られてとてもうれしいです。ただし、日本では1月1日に大きな地震があり、たくさんの方が亡くなってしまいました。亡くなって方々のために黙祷を捧げましょう。

地震の影響は、未だに続いています。現在も、自分の家に戻ることができない方がたくさんいます。また、地震の救援のために、現地に向かう予定だった飛行機が他の飛行機と衝突してしまう事故も発生してしまいました。災害が災害を呼んでしまう、悲しい出来事でした。そんな中で、一方の飛行機では、乗客全員の命を守ることができました。飛行機会社の報道発表では、この飛行機は満席であっただけでなく、「脱出ドアの半数以上が使用不可」という状況だったそうです。また、脱出時に機内のアナウンスシステムが不動作となったため、客室乗務員がメガホンと肉声で案内を実施し、安全に脱出できる出口を客室乗務員が判断して、3箇所の非常脱出口から乗客乗員全員を脱出させたのだそうです。困難な状況の中でも、乗客全員の命を救った対応は、「奇跡の18分」などとも言われているそうです。

この奇跡を起こすことができたのは、飛行機の安全性が高いものだったということと、乗務員達の避難訓練等の成果であるとのこと。避難訓練では、満席であることや、90秒以内に全員が脱出すること等、具体的な状況を想定していたのだそうです。まさに、日々の努力は、結果を裏切らない事を示していると思います。災害は、いつ起こるか分かりません。しかし、起こってしまえば大きな被害をもたらしてしまいます。災害に備えて日々の努力を続けていけば、その被害を少なくすることができるかもしれません。災害対策についてどう備えていけばよいか。皆さんにも、改めて考えて欲しいと思います。

さて、今日から3学期が始まります。3学期は学校に来る日が53日(優空君は52日)しかありません。あっという間に、終わってしまいます。だから、やりたいこと、やるべき事を「断えず考えて」、「大事なことが出来なかった…」と後悔しないように過ごすことが大切です。みんなが考えた「かんガエル」くん達がいますね。3学期もしっかりこれを意識しましょう。

校長先生はこの一年を、川が海に向かって流れていく姿に例えて話をしています。1学期の最初は、川が流れ始めるもとである「みなもと」です。1学期が終わり、ダムです。水を蓄えている場所でした。2学期は、海に注ぐまでの川の流れです。ここで、たくさんの方を使うだけでなく、先生方やおうちの人、地域の人や他の学校の人など、たくさんの方たちから、力をもらったと話をしました。そして、3学期は、川が注ぎ込む海にあたるといいます。様々な力をもらって栄養いっぱいの水が海に流れ着きます。栄養とは自分自身に身に付けた力です。3学期は皆さんが、自分自身にどのくらいの力が付いたのか、しっかり確認する学期になります。授業で考えること、発表すること、書くこと、体を動かすこと…。全てが学年の初めと違います。全力で取り組む中で、これまで出来なかったことが、出来るようになっていくことをつかみましょ。自分の成長を、しっかり実感してください。

また、海の水は蒸発して雲になり、再び山の方に戻ってきます。「戻」という字は、璃乃空さんが、2023年の漢字に選んだものですね。山に戻った水は、雨となって山に降り注ぎ、それがまた「みなもと」

になります。つまり、身に付けた力は、来年度の新しい学年に繋がっていくのです。そう考えると、3学期は、次の学年への準備の時期にもあたるのです。

優空くんは6年生ですから、4月からみなかみ中学校に通うことになります。まだ少し先ですが、さみしさを感じます。中学校に向かう準備として、藤原小学校での生活に悔いが残らないように、ここにいる全員やおうちの人と一緒に、みんな笑顔で過ごせるように、3学期を楽しんでください。3学期の目標は「最後までやりぬく」です。他の皆さんも悔いが残らないように、何事も全力で取り組み、途中で投げ出さずに、楽しく過ごして生きましょう。

2月の予定

1日(木) 校内スキー大会

5日(月) 朝礼、藤原っ子クラブ

7日(水) 児童集会

8日(木) 体力づくり

9日(金) 薬物乱用防止教室(5・6年)

12日(月) 振替休日

15日(木) 藤原小入学説明会・体力づくり

16日(金) みなかみ中移行学級

19日(月) 藤原っ子クラブ

20日(火) SC(本年度最終回)

藤原区民は、どなたでも参加できます。申し込みは、藤原小学校75-2103までお願いします。締切は、1月25日(木)です。

21日(水) 授業参観・学校保健委員会②

22日(木) 体力づくり

23日(金) 天皇誕生日

26日(月) 藤原っ子クラブ

29日(木) 体力づくり



1年の計は元旦にあり、精神統一して書に親しむ 書き初め大会

3学期始業の1月9日に、書き初め大会を行いました。「1年の計は元旦にあり」と言います。何事も最初が肝心です。子ども達は、令和6年の最初の授業に集中して取り組んだことで、一気に学校モードに切り替わった様子です。講師には2学期の同様、佐藤啓子さんをお迎えし、字形で気をつけることや、運筆の基礎を教えていただきました。作品は1月10日(水)～2月29日(木)まで、校内に展示してあります。皆様お誘いのうえぜひお越しいただき、授業の様子と一緒にご覧ください。



藤原小応援団へのご協力と藤原コミュニティルームの活用を！

現在、全国の学校で「地域学校協働活動」が推進されています。地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

子供の成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につながっていくことが期待されます。例えば、子供たちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民と共に地域課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった活動が挙げられます。

<文部科学省Webページより>

別紙に、詳細を記してあります。「藤原地区の全てが学び場」、「地区の方全員が先生」を合い言葉に、子どもと地域の方との結びつきを作ります。やがて、その結びつきは地域の方々を結びつけるものになってくれると思います。ぜひ、学校に足を運んでみてください。